

## 第8回 伊丹市総合計画審議会 議事概要

開催日時	令和2年7月2日（木）10時00分～12時00分
開催場所	伊丹市役所議会棟3階 議員総会室
出席者	加賀委員、松尾委員、芝野委員、直田委員、審良委員、川村委員、小林委員 坂本委員、中尾委員、西濱委員、森委員、吉澤委員、渡瀬委員、上田委員 木村委員、嶋本委員、鈴木委員
欠席者	植木委員、榎木委員、徐委員、辻委員、寺坂委員、宮脇委員、吉村委員
事務局	総合政策部長・政策室長 他3名
傍聴者	4名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 伊丹市総合計画基本構想・基本計画（案）のパブリックコメント結果について</li> <li>(2) 総合計画の進捗管理について</li> <li>(3) 本審議会の答申について</li> </ol> </li> </ol>
資料	<p>資料① 伊丹市総合計画基本構想・基本計画（案）</p> <p>資料② 伊丹市総合計画基本構想・基本計画（案）のパブリックコメント結果</p> <p>資料③ 総合計画の進捗管理について</p> <p>資料④ 伊丹市総合計画について（答申）（案）</p>

<b>議 事 の 経 過</b>	
<b>発言者</b>	<b>発言の内容</b>
	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録音の確認</li> <li>・資料の確認</li> <li>・委員総数 24 名のうち 17 名が出席しており、本会議が成立していることを確認。</li> <li>・会議録の署名委員が坂本委員と中尾委員であることを確認。</li> <li>・傍聴が 4 名であることを確認。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用・換気への協力依頼。</li> </ul> <p><b>2 議題(1) 伊丹市総合計画基本構想・基本計画（案）のパブリックコメント結果について</b></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に開催予定だった第7回審議会は、新型コロナウイルスの影響により、書面開催とさせていただいた。</li> <li>・本日で諮問内容の議論は終了とし、答申をまとめたい。</li> <li>・5月7日から6月5日まで基本構想・基本計画（案）のパブリックコメントを実施したところ、8名から意見提出があった。これらの意見をどのように計画へ反映するか、議論を進めていきたい。</li> </ul>
事務局 会長 委員	<p>(資料①・②について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策 1-1 の名称を「災害対策」へ変更したということであった。</li> <li>・規模が大きくなっているが、名称の変更はこれでよいと思う。</li> <li>・ただし、このトピックの問題は医療問題など、計画全体に関わるものだ。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21 ページ、健康づくりの項目では、「現状と課題」にグローバル化の進展に伴う感染症の蔓延防止、「取組の方向性」に、感染症予防の情報提供を記載した。また、29 ページでは感染症の地域経済への影響について記載した。「取組の方向性」は、各種融資や生産性向上につながる支援、人材育成、情報発信など、商工業支援にも影響があると考えている。</li> <li>・45 ページの社会潮流にも、新型コロナウイルス感染症について加筆した。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発災後のことについて注目されることが多いが、災害は事前準備も含めて、両面でマネジメントする必要がある。</li> </ul>
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の事業の中で優先順位を含め、対応策を考えていく必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の懸念を、学校教育の施策に追記していただきたい。3月からの全国一斉休校を受けて、子どもたちの学びやコミュニケーションを行う場が無くなったことが、どのような影響をもたらすかは重要な問題だ。課題認識と対策について記載する必要がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策 2-4 では取り組みの方向性に ICT 環境の充実が明記されており、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて今後重要になってくる項目だ。</li> <li>・どのようなことが起こっても、すべての児童と生徒が、生きる力を育てて力を十分発揮する教育を推進していく必要がある。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16 ページには、災害対策を踏まえた教育環境の整備について記載している。</li> <li>・今回の感染症は社会的影響が大きい。感染症に対する対策についての文言は必要だ。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育等の項目に追記するかを、検討していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントの2 ページ、1-1 について、公営バスの事業は全国的に少なくなっている。伊丹市も努力をしているが、民間への事業委託は考えられないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他都市ではバス路線の代わりにコミュニティバスを運行したり、利用者数が少ない路線へ補助金を出したりしている。</li> <li>・伊丹市は市域が小さく、高齢化が進んでいく中、市民の移動手段を確保することが市の大きな役割となってくる。公営バスとして営業していることは市の強みであり、現時点では市バスという手段が最良であると考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線網や便数を維持したまま、事業を委託することはできないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊丹市営バスの営業所はひとつであり、部分的に民間へ委託することは難しい。直営のまま営業を続けていく方が望ましいと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を全面的に委託することは考えていないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7 ページの空港との共生について、増便と利用時間枠の拡大は認められないと記載されている。利用時間枠の拡大を考えていないと明言してほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6 次総合計画の期間内で、増便並びに利用時間の拡大は検討していない。騒音問題が解決しない限り検討を行う予定はない。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の部分に感染症対策を盛り込むかを検討していただきたい。この点を踏まえて、原案を了承していただきたいが、いかがか。 (委員了承)</li> </ul>
	<p><b>議題(2) 総合計画の進捗管理について</b></p> <p>(資料説明)</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来から行っていた行政評価の手法を用いて、政策段階の到達度合いを分かりやすい形で行うという理解でよろしいか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お見込みの通りである。施策単位での到達度合いをより分かりやすく示したいと考えている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方向で行っていただきたい。指標についてはいかがか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標を達成する指標については、現在、庁内で検討している。施策の目指すところを明確にし、目標を管理していきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業評価を含めた行政評価は外部発信が非常に大切だ。PR についても庁内で検討していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議決後に、概要版リーフレットを作成する予定だ。また、市の HP を含めたインターネットによる情報発信や出前講座を行っていきたいと考えている。その際は総合計画を実現していく点を併せて PR していく。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3 は公表するのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 3 は審議会における検討資料だが、2 ページについては総合計画第 3 編の「計画の策定にあたって」にも掲載しており、公表する資料のベースとなるものである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この資料は文章が一部体言止めになっており、実施するのか、しないのかが分からない。公表する際は文章を修正していただきたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 1 は、全体を公表されると考えてよいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>お見込みの通りで、この資料が総合計画の冊子のベースとなる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 3 の 2 ページの内容を資料 1、総合計画の 3-4 に掲載している。資料 1の方が公表用資料ということだが、こちらは「行います」といった文末表現になっているので、確認していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 3 の体系図に記載されている実施計画について、進行管理は実施計画の中で行われることと理解している。資料では、「主要施策」と「事務事業」に基づいて評価していくことになっているが、「主要施策」という文言は第 5 次総合計画の中で既に使われている。この審議会で議論してきた総合計画の大綱の下に位置づけられる 33 の施策を、第 5 次総合計画では「主要施策」と呼んでいるが、6 次総合計画では「施策」という名前が変わるため、「主要施策」が「施策」の下に入っていると誤解が生じる可能性がある。「実施施策」など、他の文言への変更を検討していただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>概念として、「主要施策」の方が大きいと考えられるので、名称の変更を検討する。こちらは、実施計画で決めていく名称となる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 3 は、総合計画の「進捗管理」となっているが、資料 1 では「進行管理」となっている。これらは使い分けているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>「進捗管理」で統一する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>47 ページには「進行管理」となっているが、「進捗管理」へ変更するということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>お見込みの通りである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>進捗管理の主体を明確にする必要があると思うが、いかがか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の行政評価は内部評価で行っており、庁内で評価の考え方を共有した上で実施していくことを前提としている。また、評価にあたっては、客観的な指標を立てることにより客観性を担保することや、市民アンケートの結果などを活用して指標の中に市民の評価を盛り込むことを考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>その点について記載しておいた方がよいと考える。スペースの関係もあるが。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>記述については検討する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい生活様式が定着しつつある中で、普段から行政に関心が薄い方々に対して、新しい総合計画をお知らせできる良い機会と捉えている。</li> <li>例えば教育の分野では、新型コロナウイルス感染症への対策の重要性は誰もが認識しているが、具体的にこうしますということはこれからの課題だ。これから検討していくということを、総合計画を通じてアピールできればよいのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで、感染症対策は大綱の中に文言として盛り込まれていたが、もう 1</li> </ul>

事務局	<p>段高いレベルで文言を考えることについてはいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症が計画策定前に発生したことにより、感染症の考え方を計画に反映することができたが、この計画は感染症の具体的な計画ではなく、市のまちづくりの方向性を示すものであり、このような状況下でも学校教育や安全対策、ICT化の推進は行っていく予定である。そして、それらのスピード感やボリュームは毎年の実施計画の中で示していくこととしている。</li> <li>・第6次総合計画の策定過程や、市民に取り組んでいただきたいことについては、出前講座や、計画の概要版リーフレットによって周知を図りたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民側への呼びかけは書かれているが、公助の視点が不足している。策定の趣旨には市民と歩むと書かれているが、それ以外は書かれていない。</li> <li>・新しい生活様式が叫ばれる中で、市民は分散した形でまとまることを考えていかなければならない。そうすると、市民との協働の視点もつことが大事であると考え。</li> <li>・3月の書面会議で、災害対策は日頃からの自助、共助に加えて公助の視点を盛り込むようお願いしたところだ。これからの時代は、行政側も、市民と一緒にやっていくことが大切だと考えている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公助としての市の役割は、より具体的に施策の取組の方向性の部分などに記述している。ご意見のとおり、今後自助・共助がより重要になると考えられることから、その記述も必要と考えている。</li> <li>・これまでの議論では地震や風水害といった内容を中心に議論していただいたが、新型コロナウイルス感染症を受けて、地域の力が問われていることを再確認した。市民の活動にそれぞれの担当部局から協力をお願いすることになると思う。そのような点を盛り込んだ計画にしているところだ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な問題として市民と一緒にやっていくという姿勢に変えていく、そういう時代認識を入れられないかと考えている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6次総合計画は、市が33の施策をもってまちづくりの方向性を示すものであると認識している。その中で、特に市民協働や産学連携で進めていくものについては特出ししている。</li> <li>・3ページの将来像にある「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」というキャッチフレーズの、人の絆という箇所は、市民との、市民同士の絆、行政職員と市民の絆といったことを表している。これは今回策定する計画の目玉の考え方である。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この将来像を説明する際には、委員から頂いたご意見を踏まえて説明する。</li> <li>・第6次総合計画を市民に説明する際には、本日の意見など、策定経過を踏まえた説明をしていただくとともに、市民と協働しながら総合計画を進めていっていただきたい。</li> <li>・47ページの3-4、「進行管理」を「進捗管理」という言葉に修正していただき、先ほどご意見のあった「主要施策」の文言について変更を検討していただきたい。それ以外の点については、総合計画をPRする際に内容に留意するという点を踏まえ、原案にご了承いただきたい。</li> </ul>

	(委員了承)
会長 事務局	<p><b>議題(3) 本審議会の答申について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申案について、資料を読み上げていただきたい。</li> <li>・ 「伊丹市総合計画について（答申） （答申案読み上げ）</li> </ul>
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この答申に基本構想と基本計画案を添付するイメージだ。</li> <li>・ 2行目は「慎重に審議しました結果」を「慎重に審議した結果」に修正した方が良いのではないか。</li> <li>・ 7行目の「的確」は「適確」と変更してはいかがか。</li> </ul>
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容に相応しい方で記述する。</li> <li>・ 1点目について、この審議会が答申を行うので、「慎重に審議した結果」と修正していただきたい。</li> <li>・ 2点目の文言についても、調べていただき、必要に応じて修正を行っていただきたい。これらの点の修正を踏まえて、原案にご了承いただきたい。</li> </ul>
	(委員了承)
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修正した答申は、後日市長へ提出させていただくとともに、委員の皆様へ答申を送付させていただく。</li> <li>・ 本日の議題はこれにて終了する。昨年より第6次総合計画の検討を続けてきたが、充実した議論ができたと考えている。委員の皆様には感謝申し上げます。</li> <li>・ 完成した総合計画を、市民の方へ理解していただき、一緒になって進めていくかが今後大切になってくる。本日の議論でもあったように、PRの機会をつくったうえで、実際に実行していくことが大切だ。</li> <li>・ 本日で審議会は終了となるため、委員の皆様から一言ずつ頂きたい。</li> <li>・ 総合計画は実施計画に落とし込まれた上で、個々の施策や事務事業といった形で実現される。これまで議論されたことがどのように実施計画に示されているかを確認し、今後は見ていきたい。</li> <li>・ 本会議に加えて部会の意見をまとめていくことは大変だったと思うが、丁寧に反映されたものが出来上がったと考えている。</li> <li>・ 完成された計画を、実現していくためには、事務事業の積み上げとその評価が必要だ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合戦略では指標づくりの難しさを感じている。KPIは実態を反映していない可能性があり、評価が難しい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つの事務事業が複数の施策へ跨っていることもあり、財政面でも複雑に入れ込んでいることがある。これらの評価は、総合戦略においても重要だ。</li> <li>・ 書面会議の意見やパブリックコメントの資料をみると、非常に高度な意見が多く、市民力の大きさを感じた。次回は市民で会議体を作ることができるかもしれない。ただし、市民が会議体をつくる際には行政がそれ以上に力を持っていないと丸投げになってしまう。今回の策定会議は非常に充実したプロセスだと考える。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画をきちんと組み立てることが、計画の実効性を高めるために必要だ。前例にとらわれずに、行政、市民、地域とそれぞれの役割を整理して、実施計画を組み立てていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間である 8 年後は、社会が大きく変わっていると思う。計画に記載されている以上の、より良い伊丹市、より良い社会になっていけばと思う。</li> <li>・地域で活動するにあたり、第 6 次総合計画の内容を頭に入れながら、少しでも実現できるように今後とも活動へ取り組んでいきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像に示すように、人の絆を大切にする組織で活動しているため、そのような点からもこの将来像は良いと思う。</li> <li>・様々な立場の人が集まり、一つの計画を策定できたことは非常に良いことだ。新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、環境や社会情勢の変化を踏まえ適宜修正し、優れた総合計画になったと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段、自分が接することのない伊丹市内の問題や環境に接することができて、有意義だった。これから 8 年間の間に、子育てしている立場から、多くの人に接することがあると思うので、計画がきちんと進んでいるか、確かめていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントの提出が 8 名だけだったのが残念だ。計画が多くの市民に関心を持ってもらえるようアピールすることが必要だ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間の 8 年間で、劇的に社会は変わると予想していたが、新型コロナウイルス感染症は予想していなかった。向こう 8 年間でプラスの局面とマイナスの局面の両方があると思う。半年ないしは 1 年ごとに時代の流れを確認しながら、総合計画を運用していただきたい。</li> <li>・総合計画をリーフレットの形式で取りまとめて、中学生や高校生といった若年層へ関心を持ってもらえる機会を作っていただきたい。計画期間が満了し、次の計画がつくられる 8 年後には、自分の子どもへ読み聞かせを行いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉や高齢者福祉の分野に長年携わってきたが、自分の知識を深めることができた。</li> <li>・計画策定に携わり、自分自身も勉強になり、市の考えも十分に理解することができた。今後 8 年間を見据えていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA で活動されてきた人々の意見や思いをくみ取って発言してきたつもりであり、そのことに難しさを感じるとともに、よい経験となった。施策としてしっかりと運営していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会を通じて自分自身勉強になることが多く、感謝を申し上げる。良い計画ができたと自負しており、今後はこの計画を周知していくことが非常に重要だ。子ども達へは映像や音楽など、文章ではない方法で PR することも一案だ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 6 次総合計画は、絵に描いた餅になるかもしれないが、志がある計画ができたと考えている。審議会は自分の人生でも、志高く生きていこうと考えさせられる時間だった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊丹市は大阪都市圏の影響を受けていると考えていたが、第 1 回審議会の資</li> </ul>

	<p>料を見ると、伊丹市は川西市とのつながりが強く、川沿いの関係性の強さを再確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊丹市の総合計画を考える場合、都市やまちそのもの、土地利用や施設配置ということと、市民の生活を支えるシステムどう構築していくかということが大きいと思った。</li> <li>・現況調査と計画へのつながりの議論があまりできなかつたことが心残りだ。一般的にイメージする伊丹市と、実際の伊丹市との乖離について疑問が残る。伊丹市はどのようなまちなのかを考えながら、市役所の職員は業務にあたっていたきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の南部に住んでいると、尼崎市と連携できることが多くあると感じる。市内でも海拔が低い地域があるが、津波などについて危機感が薄いと感じる。</li> <li>・下水道の件も、伊丹市と尼崎市で協議を重ねていただき、よりよい環境整備を行っていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災は一つのセクションだけではなく、複数のテーマにわたっている。行政だけで行うものではなく、市民活動に行政が支援を行う必要がある。また、相互のコミュニケーションが取れるような形を取るとともに、開かれた行政であってほしい。</li> <li>・全てが行政任せになっては本末転倒なので、自助、共助、公助の考え方を浸透させていく必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCA サイクルの D、C、A をしっかりと回していく必要がある。</li> <li>・審議会はここで終了となるが、今後は C と A の部分で関わっていききたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の方から、何かあればお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の諮問から約 1 年間にわたり、ご審議いただき感謝申し上げます。今後は答申を市の行政計画とし、9 月議会で上程する。議決されると、来年の 4 月からこの計画の計画期間となる。基本構想の将来像である「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」の実現に向かって全庁的に進めていく。</li> <li>・計画を作って終わりではなく、その計画に基づいて何をすることが大切だ。今後 8 年間で、市民との協働は大切になってくると考える。委員の皆様も見守っていただきたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの検討成果の意見を踏まえて、将来像の実現のために市政運営に取り組んでいただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議論を踏まえ、会長より市長へ答申を提出していただく。今後は、答申内容を踏まえて 9 月議会に第 6 次総合計画の基本構想および基本計画案を議案として提出し、令和 3 年 4 月の本計画スタートに向けた準備を行っていく。</li> <li>・昨年より約 1 年にわたり、熱心にご議論いただき、改めて感謝申し上げます。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(以上)</p>